

平成31年度 一般社団法人日本くすり教育研究所 事業計画

概要

一般社団法人日本くすり教育研究所の活動も4年目を迎える。

会員数も順調に増えてきており、会員相互の情報交換や、医療系の団体、会社からの協力もいただきながら、より活発な活動を推し進めていく。会員相互の情報交換の場としてホームページの活動報告コーナーなどをより充実することにより、会員相互の活動を把握できるようにして、より高度な活動を目指す。このためには会員数の増加は必須である。

活動内容としては、青少年への医薬品教育、薬物乱用防止教育を中心に、飲酒・喫煙の害、アンチドーピング教育、さらには市民、医療従事者、教員への啓発活動など、会員の専門分野の活動に積極的に取り組んでいく。また、保護者への情報発信・啓発活動にも取り組んでいく。

1. 会員数の増加のための情宣活動と正会員の活動への積極的参加

| | | |
|----|---------|--------|
| 目標 | メルマガ会員: | 1,500名 |
| | 正会員: | 150名 |
| | 賛助会員: | 2社(4口) |

2. 健康教育指導者(地区指導員)養成を目指した研修会の企画

くすり教育研究所が目指す健康教育のための指導員を養成し、健康教育の充実を目指す(東京、愛知、京都)。

その他地域活動の可能性について検討する。

3. ホームページによる情報などの提供の充実

会員からの活動情報を掲載するサイトの充実を目指す。

会員活動リストのバージョンアップ(簡素化;活動内容、指導した生徒数等)

関係団体、会社からの情報を増やし、ライブラリー構築を目指す。

4. 資金増を目指す行動

理事等による情宣活動と情報提供のもと、賛助会員、正会員数の増加とともに、関連企業・団体との連携事業活動を目指す。

5. 理事からのメッセージ・情報の発信

理事・監事からの「熱いメッセージ」をホームページで発信する。

6. 平成30年度薬物乱用防止啓発訪問事業（厚生労働省委託業務）（(株)小学館集英社 プロダクションパブリックサービス事業部）に参画
ホームページでの活動内容及び訪問事業の申し込みの紹介、教材の作成、研修会での講演に参加。
7. 小・中・高等学校にける医薬品教育、薬物乱用防止教育などを中心にした健康教育への参画
所属(一社) 日本くすり教育研究所として参画を増やす。
 - ・小・中・高等学校にける健康教育（医薬品教育、薬物乱用防止教育など）授業
 - ・市民への「医薬品の適正使用」講演会
 - ・保護者への情報発信・啓発活動の実施
 - ・登録販売者研修のための教材作成/研修会に参画
8. 厚生労働省「健やか親子21」応援メンバーとの連携
AMR臨床リファレンスセンターとの会合、情報交換
9. 他団体・企業からの連携、相談対応